

# 複合型航空路監視センサー処理装置(HARP)等の概要

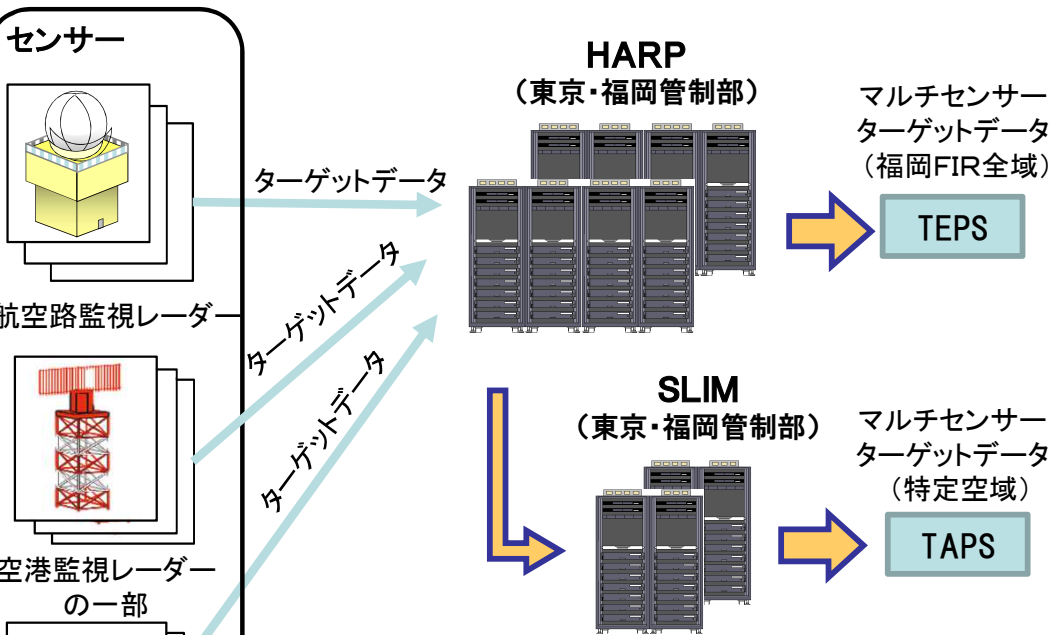
## HARP (Hybrid Air-route surveillance sensor Processing equipment : 複合型航空路監視センサー処理装置)

日本全国に整備されている航空路監視レーダー、一部の空港監視レーダー及び広域マルチラテレーションからのターゲットデータを受信し、統合処理を行うことで各航空機の位置を算出し、マルチセンサーターゲットデータとして2秒周期でTEPSに出力する。

## SLIM (Selected airspace target data extract equipment : 特定空域ターゲット抽出装置)

HARPより出力するマルチセンサーターゲットデータのうち、特定空域を抽出しTAPSへ出力する。

### <概略図>

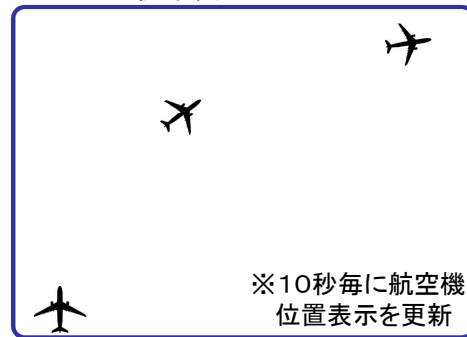


### <機能概要>

- 複数種類のセンサーからターゲットデータを受信することで高精度な航空機位置検出を可能とする。
- 各センサーより受信したターゲットデータをHARPにて航跡統合し、マルチセンサーターゲットデータを生成する。

### <HARP出力(TEPS)表示イメージ>

#### <従来表示イメージ>



航空路監視レーダーが10秒毎に検出した航空機位置表示を更新

#### <HARP出力での表示イメージ>



複数センサーのターゲットデータをHARPにて処理し2秒毎に航空機位置表示を更新

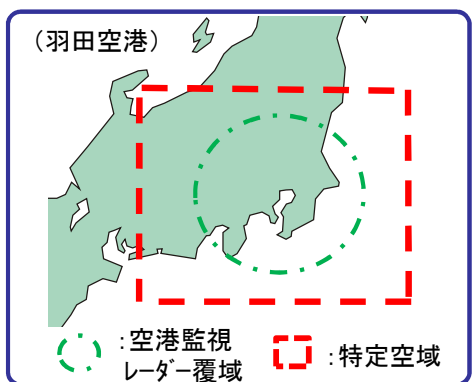
### <SLIM出力(TAPS表示)イメージ>

#### <従来表示イメージ>



空港監視レーダー覆域内の航空機位置を表示

#### <SLIM出力での表示イメージ>



特定空域における空港監視レーダー覆域外の航空機位置表示が可能